

高等学校第1学年  
Global Interaction  
(学校設定科目)

18:28 2月7日(金)

English Mechanics 4/4

English Content

Content - 4

4 ポイント

- Ideas are relevant and deeply developed
- Varies what they say often and creatively
- Superior vocabulary

Content - 3

3 ポイント

- Ideas are mostly relevant and reasonably well-developed
- Mostly varied, but occasionally repetitive
- Appropriate vocabulary

4/4

パフォーマンステストの評価をGoogle Classroomで実施し、評価結果を各生徒に配信。生徒は即時に改善点を把握。評価の効率化によりパフォーマンステストの回数増加。

# 高等学校 第1学年 Global Interaction “Introducing Japan”

## ■単元の目標

海外の高校生（シンガポール・韓国・インド・トルコ等）と、オンラインもしくは対面で異文化交流をする際に、日本文化について、相手に分かってもらえるように、視覚補助(スライド)を活用しながら伝えることができる。また、伝えた内容について質問に適切に答えることができる。

## ■単元の概要

日本の文化を全く知らない海外の高校生に日本文化を紹介するために、4人のグループで、知ってもらいたい日本文化に関するトピックを設定して、5分～6分のプレゼンテーション及びプレゼンテーションの内容について質疑応答を行う。単元末でConversation Testを実施する。

## ■単元の指導計画（6時間）

### Activity 1

Making a presentation about Japan to use during online and face to face international interactions.

グループ(4人)で、海外の高校生に照会したい日本文化に関するトピックを自ら設定し、Google slideで発表用のスライドを作成する。

### Speaking 1

Slide Presentation about your chosen topic to introduce Japan.

### Speaking 2

Conversation Test About Introducing Japan Presentation.

## ■各活動の概要

準備段階では、プレゼンテーションの論理的構成を工夫すること、スライドでは相手の理解を促すのに役立つ写真やイメージを中心にして文字の使用を最低限にすること、写真等の引用元を適切に記載することなどに留意する。

グループ(4人)でプレゼンテーションを行った後、質疑応答を行う。発表者以外の生徒は、日本文化を全く知らない生徒の立場に立って、積極的に質問する。発表者は発表時の英語の流暢さや表現内容だけでなく、アイコンタクトや声の音量など応答の姿勢も評価される。

2人の生徒が、Speaking1のプレゼンテーションに関する質問について2分間で意見等をまとめて、それぞれの生徒が45秒間で自分の考えを伝え合う。その後、互いの意見を踏まえて90秒間でやり取りを行う。

# ■ 資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿（Conversation TestとFeedback）

## 【学習活動の場面】 Conversation Testの概要：

① 2人の生徒に、それぞれ個別の部屋で、事前に行ったグループプレゼンテーションに関する質問が渡される。生徒は2分間で自分の意見等を頭の中でまとめる。

**質問の例：** Why do you think it is important to learn about the country where you live? / How did you research your topic? / What difficulties have you had in making your project?

② 2名の生徒がテスト会場に入り、自分の意見等を各自45秒間で相手に伝える。

③ 90秒間で互いの意見を踏まえたやり取りを行う。

④ **教師がやり取りを評価し、評価結果を生徒に配信する。**

**評価の流れ：** 評価者（教師）は生徒の活動を観察しながら、**Google Classroomで作成したルーブリックに基づき評価を行う。** また、生徒のやり取りの終了直後に、短時間で**文言評価を入力する。** 評価結果は、直後に生徒に配信される。

⑤ **生徒は、評価結果に基づいて、課題の確認と次の目標設定をする。**

## ■ 指導上の工夫と ICTの利活用

① 取組の始めに**生徒とルーブリックを共有**する。  
\* 当該単元で獲得したいスキルを明示する。

② **ルーブリックを使用して評価し、Conversation Testを実施した直後に評価結果を生徒に配信する。**

\* 文言評価欄では、肯定的な内容と次回へのアドバイスを記入することで、生徒のモチベーションを高める。

③ **各生徒の評価結果をクラウドに保存し、複数の教員が相互参照できる。**

\* 評価結果を生徒に配信する前にカリブレーション（評価の調整）を即時で行い、公平で一貫性のある評価ができる。

## 【生徒の「深い学び」の姿】 生徒のアンケートより（抜粋）

- ・ 質問に対して答えるだけでなく、その質問からさらに内容を深めるような質問をするなど会話を通して話を深めていくことがコミュニケーション能力の向上につながるといったことがわかった。
- ・ “Keep talking”というアドバイスをもらって、それを実践しようと頑張ることができた。
- ・ 話を止めないために相手と協力して質問をし合うのが面白くて楽しい。



## 【当該指導での「深い学び」】

生徒は、**自分のパフォーマンスの記憶が鮮明なうちに、教師からのフィードバックを確認することで、達成感を得るとともに、今後具体的に何をしたらよいかを考えることができる。** また、評価を効率的に実施できるので、パフォーマンステストの回数を確保することができ、パフォーマンスタスクが生徒の実践力育成に役立っている。

# 学習指導要領や解説との関連

## 学習指導要領 第8節 外国語

### 第2款 第4の1の(1) 話すこと【やり取り】

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。

### 第4の2の(3) ①

#### ア 話すこと【やり取り】

(ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりする活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。